

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年3月31日
学校法人 調布学園
調布幼稚園

1. 本園の教育目標

生きる力をはぐくむ

・健康な体 ・豊かな心 ・人とかかわる力 ・やり遂げる力 ・適応する力

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 1) 新型コロナウイルス感染症予防対策を取って安心安全な保育を実践する。
- 2) 本園の環境を生かし、子どもたちが主体的に活動できるような保育を行うため、教育課程に記載されている項目について、指導の重点や方法を教職員間で共通にする。
- 3) 教員の資質向上を図り、質の高い教育の実践を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	新型コロナウイルス感染症予防対策を取って安心安全な保育を実践する	A	・その都度、活動内容や実施方法を見直し、文科省及び世田谷区からの通知をもとに、園児にとっての安心安全を第一に考えながら教育活動を行った。 ・行事などに際しては、感染状況を見据えて予防に向けた対応を教職員間で入念に検討し、適切な対策を講じた。 ・園内で大きな流行が起こることもなく1年を過ごすことができた。また、感染症対策を行いながら実施できる活動が、前年度よりも少し増えた。
2	本園の環境を生かし、子どもたちが主体的に活動できるような保育を行うため、教育課程に記載されている項目について、指導の重点や方法を教職員間で共通にする	A	・環境を生かす保育を実践するために、園内の環境整備を常に行った。 ・教員主導とならないように、子どもたちの声に常に耳を傾け、保育に取り入れた。 ・学年会では、クラスの幼児の実態を話し合い教育課程に則った保育が行えるような打ち合わせを行った。 ・体操や英語の講師とも連携を図り、指導の重点や方法を事前に伺うことで、保育に生かすことに繋がった。
3	教員の資質向上を図り、質の高い教育の実践を目指す	A	・園内研究会では、写真カンファレンスを通して、環境や援助の探り方を話し合う良い機

		会となった。 ・外部講師を招いての研修では、素話や絵本の読み聞かせの技術向上に繋がった。 ・オンラインの講習を活用し、外部研修会にも積極的に参加した。
--	--	---

評価(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	<p>環境を生かした保育や主体的な保育に繋がるような保育を目指しながらも、新型コロナウイルス感染症に配慮しなければならない状況に大きな変化はなかった。しかし、今年度は、様々な工夫を凝らしながら昨年度までは見送ってきた活動をいくつか復活させることができたことは大きな成果であった。</p> <p>また、教員の資質向上に向けた活動については、終わりが無いものである。今後も継続していく。</p>

評価(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園内研究会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 写真カンファレンスの回数を増やすなど園内研究会の在り方を丁寧に見直す。 外部研修(オンライン含む)への参加
2	行事や活動の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に配慮しながらも行える活動の方法を再検討していく。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- 新型コロナウイルス感染症に関する情報はいち早くお知らせ頂き、安心して過ごせた。
- 日本の伝統文化について丁寧に指導して下さったり、文字への関心なども生活の中で自然と高めて下さったりするところが有難い。
- 栽培活動などは子どもの食への好き嫌いの軽減につながっている。また、畑に残しておいたカブから菜の花がたくさん咲いたときなどは保護者もワクワクする。